

2. 課題の整理

<p>共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の健康状態を「健康でない」と回答した人の8割弱が「この1年間にスポーツをまったくおこなっていない」と回答している。(市民アンケートより) ・健康に気を使って身体を動かしている人と動かしていない人の差がある。 ・「仕事、家事、育児などが忙しくてスポーツをする時間がない」と回答した人が一番多く、次に「機会やきっかけがなかったから」と回答した人が2番目に多い。(市民アンケートより) ・コロナ禍で外出の機会や人と会う機会が減少したため、体力が低下したとの声が多い。 ・地域の自治会活動や、市主催のイベントは継続参加者が多く、新規参加者が増えない。 ・地域のイベントや市主催のイベントに参加したいが、情報が入ってこない。 ・新たな活動やコミュニティに参加することに抵抗のある人と、参加したいと思っていない人がいる。(団体より1人で運動したい人もいる。) ・1人でも身体を動かすことが好きな人に対しての運動の発信がない。 ・便利な世の中になる一方、日常的に身体を動かす機会が少なくなっている。 ・市の公共スポーツ施設を利用しなかった理由として、「身近に施設がない」と2割弱の人が回答している。(市民アンケートより)
<p>高齢者について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「週1回以上運動」やスポーツのグループに参加している割合が16.8%と低い。(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より) ・フレイル予防や生活習慣病などを身近な問題として捉えていない人が多い。 ・健康の方と要介護状態の間(フレイル)状態の方が運動をする場がない。 ・高齢者同士の集まりはあるが、子どもなど幅広い年代との集まりはない。
<p>障がいについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツに関わったことがない人が多い。(市民アンケートより) ・外に出ない人は肥満傾向が見受けられる。 ・家庭環境や障がいの程度により、外部の人との交流やスポーツをすることができない。 ・障がい者も健常者も一緒にできるスポーツがあると良い。 ・自ら動くものばかりで、観戦するスポーツ企画はない。 ・イベントチラシなどを見ても自分の障がいの程度で参加して良いのかわからない。
<p>地域について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の集まりに入りづらい。
<p>働く世代について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定検診を受けている人の中で、BMIが25以上の人が、県内でも吉川市は多い。(メタボが多い)
<p>子どもについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の保護者組織「母集団」の連携コミュニティを通じ子どものスポーツへの参加と仲間作りについて検討が必要。 ・コロナ禍により中学生の部活動に制限がある。部活動は広く健康スポーツの礎となる活動であるので、地域での見守りが必要。 ・一般的に「運動神経」と言われる、脳から筋肉に運動の指令を伝える神経細胞同士の伝達システム＝「神経系」は、6歳までに約90%まで急速に発達するが、この大切な時期に体を動かすことの重要性を認識する機会がない。 ・SNS等の氾濫する情報処理やゲーム等に係る時間の増加、共働き、習い事などにより、体を動かす機会が減少している。 ・保護者からの申し込みが必要なものが多く、イベントへの参加が保護者の意向によることが多い。 ・子どもだけで参加できるイベントが少ない。 ・学校からのチラシ配布では他の情報に紛れてしまい、必要な情報が子どもに届かない。

3. 施策体系例

【埼玉県】	
<p>施策1 スポーツ参画人口の拡大 ～「する」「みる」「ささえる」スポーツ文化の醸成～</p>	<p>(1)スポーツムーブメントの創出 (2)ライフステージ、ライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進 (3)障害者スポーツの推進 (4)スポーツ参画人口の拡大をささえるスポーツ人材の育成 (5)身近でスポーツに親しめる場の充実 (6)健康の増進に向けたスポーツ医・科学の活用</p>
<p>施策2 子供のスポーツ活動の充実 ～生涯にわたり、スポーツに親しむ心を育てる～</p>	<p>(1)学校体育の充実 (2)運動部活動の充実 (3)地域における子供のスポーツ活動の充実</p>
<p>施策3 スポーツを通じた地域の活性化 ～スポーツを元気で魅力ある埼玉づくりの推進力に！～</p>	<p>(1)スポーツを通じた魅力ある地域づくり (2)スポーツの成長産業化</p>
<p>施策4 世界に羽ばたくトップアスリートの輩出～スポーツ王国埼玉をささえるアスリートへの積極的支援～</p>	<p>(1)トップアスリートの発掘、育成、支援 (2)障害者の競技スポーツの推進 (3)トップチーム・トップアスリートと地域スポーツの好循環の創出 (4)アスリート育成に向けたスポーツ医・科学の活用</p>

【三郷市】	
<p>基本方針1 みんなでスポーツに親しむ機会の充実 —子どもや高齢者、障がい者など、年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、一人ひとりがそれぞれの目的に応じてスポーツを楽しむ、親しむことができる機会の充実を図ります。</p>	<p>(1)スポーツイベントの充実 (2)スポーツと健康づくりの融合 (3)それぞれのライフステージに応じたスポーツの推進 (4)ホストタウン交流などのグローバルなスポーツ交流の推進</p>
<p>基本方針2 さまざまなスポーツを行うための環境整備 —身近で気軽にスポーツができる環境を整えていきます。また、市内に点在する多くの既存施設を活用し、質が高く安全・安心にスポーツができる空間や施設の整備を進め、スポーツを楽しむ環境づくりを進めます。</p>	<p>(1)運動拠点施設(スポーツ・レクリエーション拠点)の有効活用 (2)運動施設の運営管理等 (3)スポーツ活動における安全性の確保 (4)トップレベルのスポーツ競技等の誘致</p>
<p>基本方針3 ともに支える持続可能なスポーツ団体及び人材の育成・支援 —市民が生涯にわたり様々なライフステージに応じたスポーツを行うために、適切な指導者や、その活動を支える人材及び団体の育成・確保を進め、地域のスポーツを支えます。</p>	<p>(1)スポーツ団体の育成・支援 (2)スポーツに関する情報収集及び提供体制の充実 (3)競技としてのスポーツレベルの向上 (4)指導者・ボランティアの育成 (5)民間企業との連携による取組み (6)児童・生徒のスポーツ活動の支援</p>

【八潮市】	
<p>1 スポーツへの参加機会の充実</p>	<p>(1)子どものスポーツ推進 (2)成人のスポーツ推進 (3)高齢者のスポーツ推進 (4)障がい者のスポーツ推進</p>
<p>2 スポーツ活動を支える人材と団体の育成</p>	<p>(1)スポーツ指導者の育成 (2)スポーツボランティアの育成 (3)スポーツ団体の育成</p>
<p>3 スポーツの場の充実</p>	<p>(1)身近なスポーツの場の提供 (2)スポーツ施設の充実</p>
<p>4 スポーツを通じたまちづくり</p>	<p>(1)地域の特色を活かしたスポーツイベントによる地域活性化 (2)スポーツ情報の発信 (3)ジュニアアスリートの発掘・育成</p>

【富士見市】	
<p>基本目標 1 すべての年齢層に応じたスポーツ活動の推進</p>	<p>1-1 子どもスポーツ活動の推進 1-2 学校体育活動の推進 1-3 成人スポーツ活動の推進 1-4 高齢者スポーツ活動の推進 1-5 障がい者のスポーツ活動の推進</p>
<p>基本目標 2 スポーツをする機会の充実及び活動への支援</p>	<p>2-1 スポーツに関する情報提供の充実 2-2 スポーツ大会、教室への開催支援 2-3 スポーツ団体等への活動支援 2-4 競技スポーツ向上への支援 2-5 スポーツ指導者の活用</p>
<p>基本目標 3 健康づくりに向けた取り組みの推進</p>	<p>3-1 保健、福祉、医療及び企業との連携 3-2 健康づくり事業の推進 3-3 ニュースポーツの推進</p>
<p>基本目標 4 スポーツ活動ができる環境整備の推進</p>	<p>4-1 総合型地域スポーツクラブ創設への支援 4-2 公共スポーツ施設の整備・効果的活用</p>

